

8実践校活動開始

県研究会
本社で総会
新規3校含め認定



NIE(教育に新聞を)活動を実践する小中学校の教員でつくる県NIE教育研究会の本年度総会と全体会が19日、福井新聞社・プレス21で開かれた。4月から新たに実践指定校となった3校を含む

8小中学校に認定書が渡され、各校での本格的な活動がスタートした。

総会には25人が出席。本年度会長の竹内敦子・勝山市村岡小学校長が、次期学習指導要領に語彙や情報の読み取りに関する指導の充実が盛り込まれたことに触れ「NIEをさらに広げ、深めていきたい」とあいさつ。

実践校を代表して竹内校長が、県NIE推進協議会の寺尾健夫会長(福井大教育学部教授)から認定書を受け

NIE実践指定校の認定書を受け取る竹内校長=19日、福井新聞社・プレス21(杉本哲大撮影)



た。全体会では、小中学校別に授業の進め方などについて意見交換。本年度の研究推進委

員に委嘱された元実践校の教員らが「新聞社のワークショップは朝学習で活用できる」「最初からあれもこれもでは負担感が大きい。無理なく続けて」などとアドバイスしていた。

(宇野和宏)